



○ 飯塚市教育委員会学校訪問

開校から2ヵ月間、通常の業務に加え、引っ越しに伴う環境整備、小中間の様々な調整、穂波東校開校式、中学部初の新校舎での体育会等々、多忙を極める中、5月29日の飯塚市教育委員会学校訪問でも、先生方には大変ご尽力いただき、ありがとうございました。

「本年度開校した穂波東校が、小中一貫校として順調に学校運営ができているか等を視察し、更なる発展に向け指導・助言を行うこと」を目的に行われた今回の訪問では、高い評価をいただくとともに、多数の貴重なご指導・ご助言をいただきました。

教育活動全般に関すること

- 落ち着いた雰囲気の中で子どもたちが楽しく勉強している姿を見ることができました。
- 「新しい学校を創ろう！」という意気込みを感じることができました。
- 子どもたちが笑顔で挨拶して迎えてくれ、子どもたちがこの新しい学校に寄せるワクワク感が伝わってきました。
- 施設一体型の一貫校は、周りからは一つの学校として見られています。ですから、もし小中間の情報の共有化が図られていなければ、「何故？」と見られます。そのようなことが無いように、日々、小中間の情報の共有化を大切にしてください。
- 施設一体型の条件をフルに生かし、新しい発想で小中一貫教育を進めて下さい。
- 穂波東校は、「主体的・対話的で深い学び」「ICT教育」「英語教育」「プログラミング教育」等、新しい教育に向かって、しっかりと構想をもって取り組んでいることが分かりました。

諸教育活動に関すること

- 新たに配置した電子黒板を積極的に活用され、有難く思います。電子黒板には様々な活用方法があるので、それを研修され、今後更に活用していただきたいと思います。
- これまでも施設一体型の一貫校では、中学部からの不登校生の減少が見られます。この要因は、7年生における関係生徒の小中間の日常的な情報交換や協働体制にあると考えます。ぜひ、穂波東校でも同様の取組を実施されて下さい。
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、日々の授業での取組はもとより、育成した「見方・考え方」を次の学習に繋いでいくような取組をされて下さい。また、それが9年間の連続した学びの中で実現するよう取り組んで下さい。
- 「5・6年生の学期末テストの取組」は、彼らが7年生の1学期になって初めて本格的な期末テストに臨むときに、その効果が現れると思います。実際にそのような結果が得られれば、全市的に広げていきたいと考えますので、今後も情報提供をお願いします。
- 出前授業ではなく、5・6年生が中学部の校舎エリアに出向いて授業を受ける「チャレンジ授業」の構想は、大変素晴らしいと思います。ぜひ取り組んで下さい。



小学部・中学部の各先生方へ

いただいた指導助言は、今後の教育活動へ活かして下さい。

また、児童生徒に対する評価もいただいております。このことは児童生徒へもお伝え下さい。